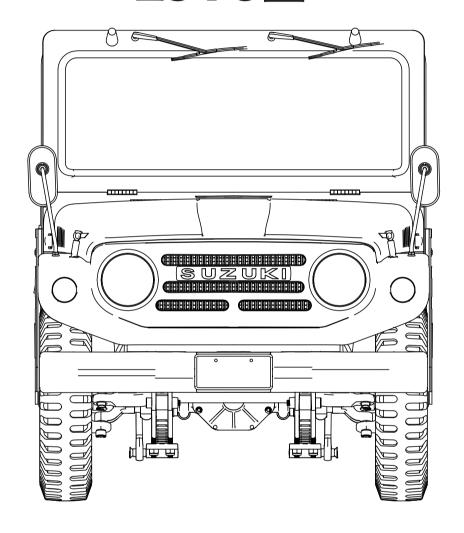


1:6 初代 スズキ ジムニ・ LJ10型



別にお買い求めいただくもの

- ■送信機用バッテリー:単3電池 4本
- ■走行用バッテリーと充電器 2C(7.2V)または3C(11.1V) 容量5000mAh以下(4000mAh~5000mAh推奨)のLiPOバッテリー(XT60コネクター仕様) バッテリーサイズ(長さx幅x厚さ):137mm x 53mm x 23mm以内

諸元

長さ:546mm 高さ:265mm 地上高:50mm デパーチャーアングル:48°

車幅:233mm ホイールベース:330mm アプローチアングル:41°

目次

イントロダクション	03
送信機	03
操作手順	06
スロットルトリガーの位置	09
車両を操作する	12
組み立て	12
ギアの噛み合わせの調整	13
バッテリーを充電をする	13
CE 警告	15
ホイール アッセンブリー	16
フロントウィンド アッセンブリー	16
シートアッセンブリー	17
ステアリングリンゲージアッセンブリー	17
ステアリングサーボ	18
フロントアクスル アッセンブリー	18
リアアクスルアッセンブリー	19
トランスミッションギアボックスアッセンブリー	19
トランスミッションシャフトアッセンブリー	20
メインギアボックスアッセンブリー	20
オイルダンパーアッセンブリー	21
車体組立	21
車体仕上げ	22
付属品リスト (1)	23
付属品リスト (2)	24

イントロダクション

小排気量、小型、低価格、独自のマーケットポジションで市場のギャップを埋めることに成功した伝説の車、ジムニーは、従来のオフロード車に対する考え方を打ち破るべく誕生し、オフロード愛好家にとって頼れる道具としてその存在を示しました。

ジムニーの前身はホープ自動車のホープスター ON4WD で、1968 年にスズキ自動車に売却されました。 1970 年には、359cc の 2 ストローク直列 2 気筒を搭載し、重量 600kg の LJ10 が登場したのです。

FMS が自信を持ってお届けする 1/6 スケール、ジムニー LJ1 の公式ライセンスモデルです。メタルビーム、無負荷ベアリングシャーシ、前後リーフスプリングサスペンション、ユニバーサルジョイントを大胆に採用。クッションのような柔らかさのソフトラバー巻きのシートは折り畳み式で、1/6 フィギュアとの相性も抜群です。

モーター、ESC、受信機、バッテリーをボンネット内に集約し、電源スイッチやメンテナンスの利便性を高めました。ヒンジ式フードを開けるだけでフルアクセスが可能です。

調整可能なフロントガラスや左右のドア位置の安全バー、実写のミラー、連動するステアリングホイール、ミニチュアシャドーのメーターパネルやメカボタン、マニュアルギアシフト、フットペダルセットなど、インテリアのディテールを見事に再現しています。

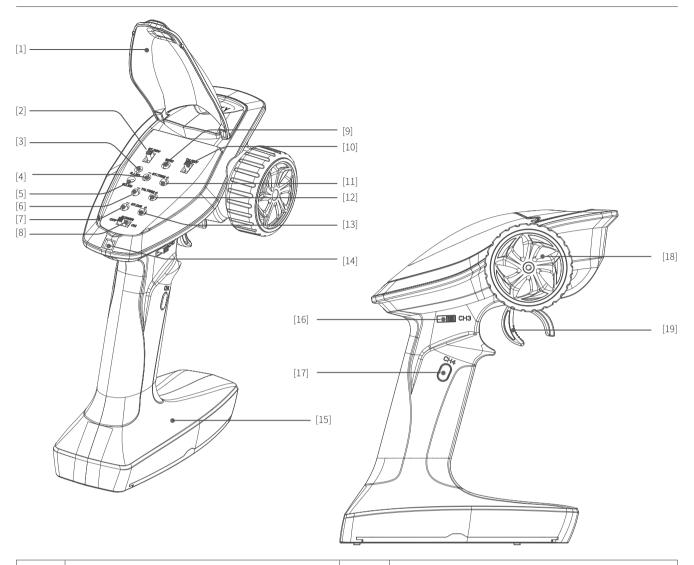
テールゲートを下げ、スペアタイヤキャリアを右に開くと、様々なシミュレーションパーツに最適な大型のリアバケットスペースが出現し、スケール感の異なるスタイリングが実現できます。

ブラックの調整式アンチロールバーは、様々な素材やスタイルのパーツをアップグレードするのに便利な方法を 提供します。照明の面では、ヘッドライトはデフォルトで常に点灯し、フロントとリアのターンシグナルとテー ルライトはライトビーズの位置に確保されており、照明システムのアップグレードに便利です。

送信機

FS-G4P は、FMS の最新の AFHDS 2.4GHz ATN 周波数ホッピングテクノロジーを使用した シンプルな 4 チャンネル送信機です。

エントリーレベルのユーザーのために、洗練された情熱的でパワフルなデザインに仕上げました。



[1]	パネル クイック カバー	[11]	ステアリング トリム (+)
[2]	ステアリング リバース スイッチ	[12]	スロットル トリム (+)
[3]	パワーインジケーター レッド	[13]	ステアリング D/R (デュアルレート) (+)
[4]	ステアリング トリム (-)	[14]	ストラップ 取り付け穴
[5]	パワーインジケーター グリーン	[15]	単3電池ボックス
[6]	スロットル トリム (-)	[16]	3 ポジションスイッチ (CH3)
[7]	ステアリング D/R (デュアルレート)(-)	[17]	ボタン (CH4)
[8]	電源スイッチ	[18]	ステアリングホイール 最大回転角度は左右 35 度 (CH1)
[9]	バインディングボタン	[19]	スロットル トリガー グリップの方向に引いて前進、押して後進です。
[10]	スロットル リバース		

はじめに

操作の前に、以下の指示に従ってバッテリーの取り付けとシステムの接続を行ってください。

送信機の電池の取り付け

危険	指定の電池(単3形×4本)以外は使用しないでください。
危険	電池を開けたり、分解したり、修理を試みたりしないでください。
危険	操作の前に、以下の指示に従ってバッテリーの取り付けとシステムの接続を行ってください。
危険	過度の熱や液体にさらさないでください。
危険	電池を落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。
危険	電池は必ず乾燥した涼しい場所に保管してください。
危険	破損した電池は、使用しないでください。

電池の種類:単3アルカリ乾電池

- 1. 電池収納部のふたを開ける。
- 2. 完全に充電された単 3 形電池を 4 本入れてください。 電池が電池ボックスの接点に正しく接触していることを確認してください。
- 3. 電池収納部のふたを元に戻す。

ローバッテリーアラーム:電圧が 4.2v より低いとき、パネルの グリーン LED はゆっくり点滅します。

操作手順

セットアップ後、以下の手順で操作してください。

1. 電源オン

- 1. そのバッテリーが完全に充電され、正しく取り付けられていることを確認して下さい。
- 2. スイッチを [ON] の位置に切り替えます。アクティブになると、レッド LED が点灯します。
- 3. 受信機を電源に接続します。

安全のため、電源は必ず受信機より先に送信機に入れてください。

! 注意 損傷やケガを避けるために、注意して操作してください。

! 注意 スロットルが最も低い位置にあり、スイッチは上の位置に設定されていることを確認してください。).

2. バインディング

受信機の交換や増設が必要な場合は、以下の手順で行ってください。

- 1. バインドボタンを押しながら送信機の電源を入れ、バインドモードにします。グリーン LED がすばやく点滅し始めます。 バインドモードになったら、バインドボタンを放します。
- 2. 受信機の電源を入れると、受信機はバインドモードに入ります
- 3. バインドが成功すると、受信機の LED はゆっくりと点滅し、送信機の LED は再起動後も点灯したままになります。

※バインドするときは、まず送信機をバインドモードにし、次に受信機をバインドモードにしてください。

- FS-G4P 送信機と FR-R4P 受信機に対応。受信機によってバインド方法が異なります。 詳しくは、FMS のホームページでマニュアルなどをご覧ください。
 FMS ホームページ: https://www.fmshobby.com/
- 製品情報は定期的に更新されますので、詳しくはウェブサイトをご覧ください。

3. スティックキャリブレーション(スロットルやホイールのニュートラルポジションを設定する機能です。)

すべての送信機は出荷前に校正されていますが、再校正が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

- 1. ホイールを時計方向に目一杯回し、スロットルを前方に倒し、キャリブレーションモードで送信機を起動します。
- ●レッド LED とレッドグリーン LED が 2回点滅します。
- 2. ステアリングのキャリブレーションを行います。ホイールを時計回りに完全に回転させ、次に反時計回りに完全に回転させます。
- ●キャリブレーションが完了すると、レッド LED が消灯します。
- 3. スロットルトリガーのキャリブレーションを行います。トリガーを奥まで押し、その後、手前に引きます。
- ●キャリブレーションが完了すると、グリーン LED が消灯します。
- 4. キャリブレーションが完了したら、バインドキーを押して保存し、終了します。

4. 電源を切る

以下の手順で、システムの電源を切ってください。

- 1. 受信機の電源を切る。
- 2. 送信機の電源スイッチをオフの位置に切り替えます。

! 危険

送信機の電源を切る前に、必ず受信機の電源を切ってください。 破損や怪我の原因となります。

do

システム機能

ここでは、機能を中心に、その使い方を説明します。

1. チャンネルの説明

送信機からは合計4つのチャンネルが出力され、以下のように割り当てられています。

1. CH1 ステアリングホイール

2. CH2 スロットルトリガー

3. CH3 3 ポジションスイッチ

4. CH4 リセットボタン

注:デフォルトでは CH4 の出力は 1000us で、その後ボタンを押すと 1000us と 2000us が切り替わります。

2. チャンネルリバース

入力に対して、各チャンネルの動作方向を調整する機能です。

ステアリングリバース / スロットルリバース スイッチは、CH1 と CH2 のリバースボタンです。 スイッチが上にある場合はリバース、下にある場合はノーマルを表します。

3. トリム

ステアリングトリム は CH1 (ステアリング) のトリムであり、CH3、CH4 のトリムとして多重化できます。

多重化切り替えモードについては、[5.5 モード切り替え]を参照にして下さい。スロットルトリムは、CH2(スロットル)のトリムです。

調整範囲: -120us- + 120us, 各ステップ 4us;

ステアリングトリム + / スロットルトリム +:調整ステップの増やします。

ステアリングトリム - / スロットルトリム -: 調整ステップを減らします。

LED インジケーター

トリムキーを使用する場合、短く押すとグリーン LED がゆっくり点滅し、長く押すと速く点滅します。微調整値が中間点にあるとき、グリーン LED がゆっくりと 2 回点滅します。

微調整値が両端(+120us / -120us)のとき、トリム調整は最大となり、グリーン LED は点滅しません(微調整値が+120us に調整されている場合、ステアリングトリム + / スロットルトリム + キーは無効になりグリーン LED は点滅しません)。

4. デュアルレート

ステアリングデュアルレート はサーボトラベル調整用で、CH2(スロットル)、CH3、CH4 のサーボトラベル 調整として多重化できます。多重化の切替モードは「5.5 モード切替」を参照してください。

調整範囲 0~120%(初期値は100%)、ステップ数は5%です。

ステアリングデュアルレート +: サーボの移動量を増やします。

ステアリングデュアルレート -: サーボトラベルを減少させます。

LED インジケーター

トリムキーを使用する場合、グリーン LED は短く押すとゆっくり、長く押すと速く点滅します。

レシオ値が両端(0/120%)の場合、ステアリングデュアルレートボタンが最大となり、グリーン .LED は点滅しません (レシオ値が 120% に調整されている場合、ステアリングデュアルレート + キーは無効でグリーン .LED は点滅しません)。

5. モード切り替え

ステアリングトリム、ステアリングデュアルレート ボタンを異なるチャンネルで再利用するための機能です。

(15.3 トリム1、15.4 デュアルレート 1 をご参照ください)。

機能設定:通常の電源 ON 時に、バインドボタンを素早く 2 回(1 秒以内)押すと、モード 1、2、3、4 が切り替わります。 電源 ON 時の初期設定は、モード 1 です。

モード 1:グリーン LED がゆっくり 1 回点滅、ステアリングトリムは CH1 微調整、ステアリングデュアルレートはサーボ移動量調整です。

モード 2: グリーン LED がゆっくり 2回点滅、ステアリングトリムは CH1 微調整、ステアリングデュアルレートは CH2 サーボ移動量調整です。

モード 3: グリーン LED がゆっくり 3回点滅、ステアリングトリムは CH3 微調整、ステアリングデュアルレートは CH3 サーボ移動量調整。

モード 4: グリーン LED がゆっくり 4回点滅、ステアリングトリムは CH4 微調整、ステアリングデュアルレートは CH4 サーボ移動量調整です。

6. フェイルセーフ

この機能は、送信機からの信号が途絶えたときに、受信機がどのような動作をするかを決めるもので、サーボ の位置などが含まれます。

設定:

- 1. 送信機の電源を入れ、受信機と接続されていることを確認する。
- 2. コントロールサーフェスを目的のフェイルセーフポジションに保持します。
- 3. バインドボタンを3秒間押し続け、グリーンLEDが2秒ごとに点滅し始めたら、セットアップは成功です。

フェイルセーフが設定され、受信機が信号を失うと、これらの値がデフォルトになります。

注意:フェイルセーフ機能は工場出荷時にデフォルトに設定されていないため手動で設定する必要があります。 フェイルセーフが設定されていない場合、信号が途絶えたときに何も出力されません。

7. ビギナーモード

初心者モードでは、操縦に慣れていない人向けに設定されています。このモードではスロットルは 50% に制限され、チャンネルの範囲は 1250~1500~1750us に設定されています。

セットアップ:ビギナーモードとノーマルモードを切り替えるには、送信機の電源が入った状態でチャンネル4ボタンを長押しします。

注意:注意初期設定では、ノーマルモードに設定されています。ビギナーモードに設定されている場合、電源 ON 時に グリーン LED が 3 秒間ゆっくり点滅します。

諸元

1. 送信機仕様 (FS-G4P)

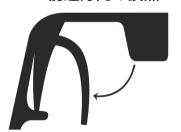
製品モデル	FS-G4P
チャンネル	4
モデルタイプ	車、ボート
RF	2.4GHz
ŔF パワー	<20dBm
2.4GHz プロトコル	ANT
距離	>300m(地上)
チャンネル解像度	1024
ボッテリー	単3 乾電池4本
充電インターフェース	なし
持続時間	バッテリータイプにより異なります。
低電圧警告	<4.2V
アンテナの種類	内蔵 シングルアンテナ
データインターフェース	
温度範囲	-10°C ~ +60°C
湿度範囲	20-95%
オンラインアップデート	なし
色	ブラック
サイズ	160×193×97mm
重量	220g
認証取得	技術適合証明

スロットルトリガーの位置





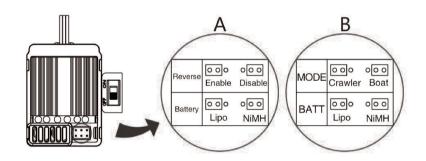
前進方向の頂点



後退方向の頂点



モデル WP-1060- ブラッシュド		WP-1060- ブラッシュド
通常供給電流 / バー	ースト電流	フォワード:60A / 360AB バックワード:30A / 180A
入力		2~3S Lipo, 5~9 セル NiMH
適用車種		1:10 オンロード、オフロード バギー、トラギー、SCT1 :10 クローラー、タンク&ボート
モーターリミット	2S Lipo または 5-6 セル NiMH	540 または 550 サイズのモータ > 8T または RPM <45000 @7.2V
	3S Lipo または 7-9 セル NiMH	540 または 550 サイズモータ >13T または RPM <30000 @7.2V
抵抗		フォワード: 0.0008 オーム , バックワード: 0.0016 オーム
BEC 内蔵		3A/6V (スイッチモード BEC)
寸法・重量		36×30×18mm 40g



D:WP-1060- ブラッシュド

F/B/R: 前進、ブレーキ、後進 F/B/R: ブレーキ付き前進

F/B/R: 前進と後進(クローラモード)

障害	考えられる理由	ドライブトレインの故障解決策	
電源を入れても、モーターが動かず、 音も出ず、LED も点灯しない。	ESC に十分な電圧が供給されていないか、 バッテリーパックと ESC の接続が断たれている。	バッテリーの接続を確認するか、不具合の あるコネクタを交換してください。	
	スイッチが破損している。	スイッチを交換する。	
電源を入れても、モーターが動作せず、	スロットル信号が異常です。	スロットルワイヤーの接続を確認して下さい。 受信機のスロットルチャンネルに差し込まれ ていることを確認します。	
赤色 LED が点滅している。	オートスロットルキャリブレーションに 失敗しました。	スロットルチャンネルの「TRIM」の設定を 0 に するか、ノブをニュートラル位置まで回します。	
スロットルを操作すると反転する (モーターが反対方向に動く)。	ESC とモーター間の配線接続を 変更する必要があります。	ESC とモーターの間の 2 本の配線接続 を入れ替える。	
	ジャンパーの位置がおかしい。	ジャンパーを確認し、正しい位置に差し 込んでください。	
モデルがバックしません。	スロットルチャンネルの中立点が変化する、 またはズレています。	スロットルチャンネルの「TRIM」を 0 にするか、ノブをニュートラル位置まで回します。	
モデルがバックしかしません。	スロットルチャンネルの向きがおかしい。	スロットルチャンネルの向きを元の「NOR」から「REV」、または元の「REV」から「NOR」に戻します。	
モーターは動かないが、ESC の LED	モーターと ESC の接続が切れている。	接続を確認し、不具合のあるコネクタを交換します。	
は正常に動作している。	モーターが破損している。	モーターを交換して下さい。	
動むしていてはにの発すった。 が信止した	スロットル信号が失われました。	送信機と受信機を確認して下さい。 スロットルワイヤーの接続を確認する。	
動かしている時に突然モーターが停止した。	低電圧遮断保護または過熱遮断保護が作動 しました。	バッテリーパックを交換するか、ESC を 冷却してください。	
モデルが最高速度に到達することができず、 フルスロットル時に赤色 LED が点灯しない。	送信機の設定が間違っている。	設定を確認して下さい。 デュアルレート、EPA、ATL を 100% に するか、ノブを最大値まで回します。TRIM を 0 にする、またはノブをニュートラルの 位置に回します。	
	バッテリーの放電能力に限界があります。	放電能力の高いバッテリーを使用して下さい。	
急加速するとモーターがガタつく。	モーター回転数が高すぎる、ギア比がアグ レッシブすぎる。	回転数の低いモーターを使うか、ピニオンを 小さくしてソフトなギア比にする。	
	車の駆動系に異常がある。	車両の駆動系を確認して下さい。	

車両を操作する

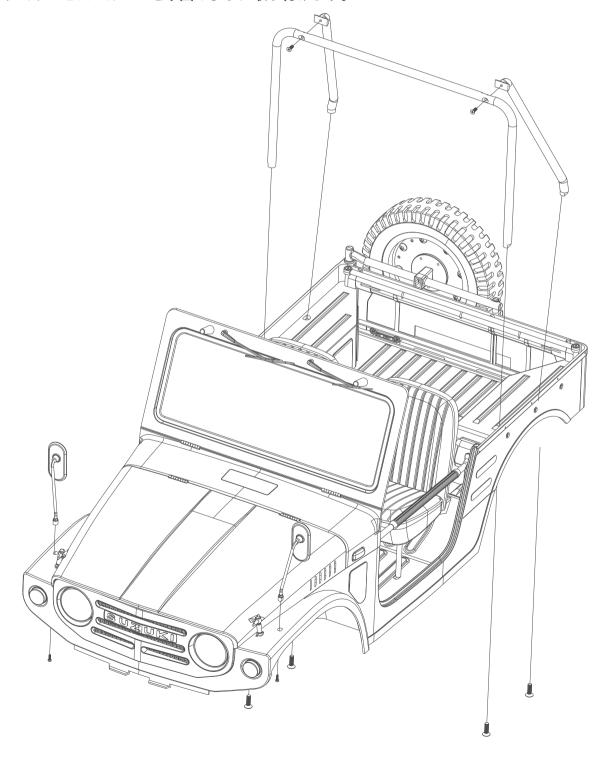
ステップ 1:送信機の電源を入れると、送信機のヘッドランプが点滅し、周波数マッチングモードになります。

ステップ 2: 受信機スイッチをオンにし、ヘッドライトは点滅と周波数マッチングモードに入ります。

ステップ 3:送信機と受信機が周波数アップに成功すると、送信機のフロントライトが長時間点灯し、車両のフロントライトが消灯します。

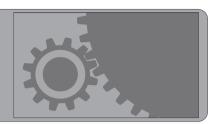
組み立て

バックミラーとロールバーを下図のように取り付けます。



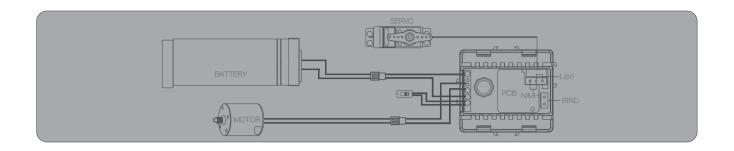
ギアの噛み合わせの調整

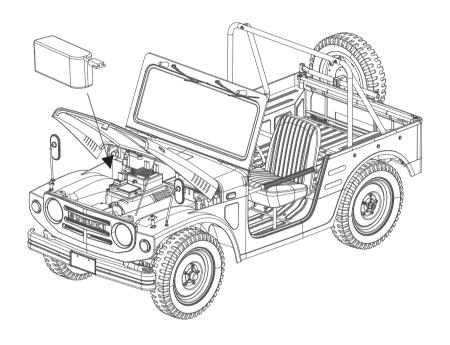
ギヤの噛み合わせとは、車のピニオンギアとスパーギアギアの間の隙間の ことです。モーターやギア部品を交換した場合、ギアの噛み合わせがきつ すぎないか、磨耗を早めないか確認してください。



バッテリーを充電する

- ●リポバッテリーの充電は、必ず不燃性・耐熱性のある場所で行ってください。
- ●充電中は常にリポセーフバッグまたは容器を使用してください。リポセルはいつでも過熱させないでください。セルが華 氏 140 度(60℃)以上になると、通常は損傷し、発火することになります。
- ●リポバッテリーを機種に装着したまま充電しないでください。また、車体に搭載したまま保管したりしないでください。 リポバッテリーを放電しないでください。
- **●リポバッテリーを水や湿気にさらさないでください。バッテリーを直火やヒーターの近くで保管しないでくださ い。**
- ●リポセルや組み立て済みパックを他のリポセルやパックと一緒に組み立てないでください。リポバッテリーは常に子供 の手の届かない安全な場所に保管してください。
- ●モデルが何らかの衝突に巻き込まれた場合は、必ずリポバッテリーを取り外してください。バッテリーとコネクターに小さな損傷がないかを注意深く点検してください。
- ●注意:使用後はセルが熱くなることがあります。充電する前に室温まで冷ましてください。
- ●電解液が目に入ったり、皮膚についたりしないようにしてください。電解液に触れた場合は、すぐに患部を洗ってください。
- ●充電や操作の前に、必ずバッテリーの状態を点検してください。リポバッテリーをショートさせないでください。
- ●漏液・破損した電池に直接触れないようにしてください。
- ●推奨温度範囲外(0℃~45℃)で充電しないでください。





注意

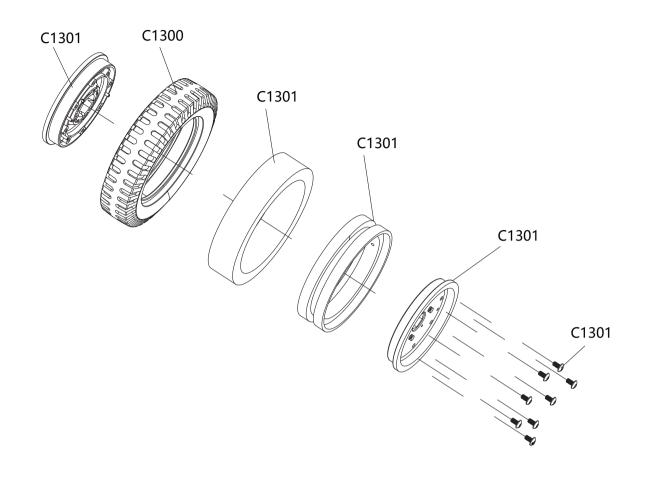
- 1. 長時間使用しない場合は、電池の消耗を防ぐため、電池を交換し、電池の残量を確認してください。
- 2. 電池を開いたり、分解したり、修理しようとしないでください。

CE 警告

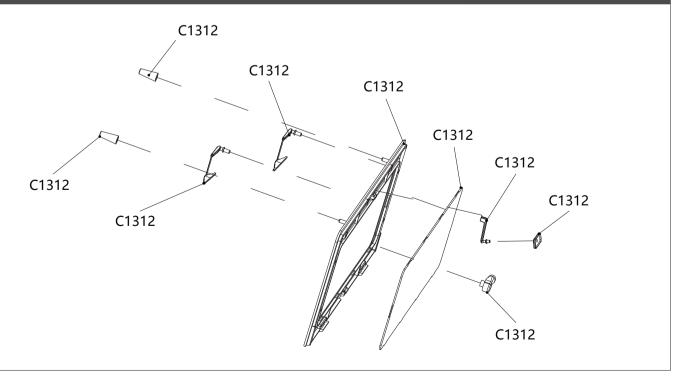
電波法および2.4GHzの技術基準適合証明

日本国内で使用することができるのは、技術基準適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術基準適合証明ラベルが貼られている製品のみとなります。本製品は技術基準適合証明を取得しており、技適マークが添付されています。技術基準適合証明ラベルを剥がすことや、汚すことはやめてください。また、輸入製品などにおいて技術基準適合証明ラベルの添付のない製品を日本国内で使用すると電波法違反になる場合があります。さらに、技適マークの添付された無線機を改造すると、技術基準適合証明は無効になります。本製品の改造は絶対にしないでください。

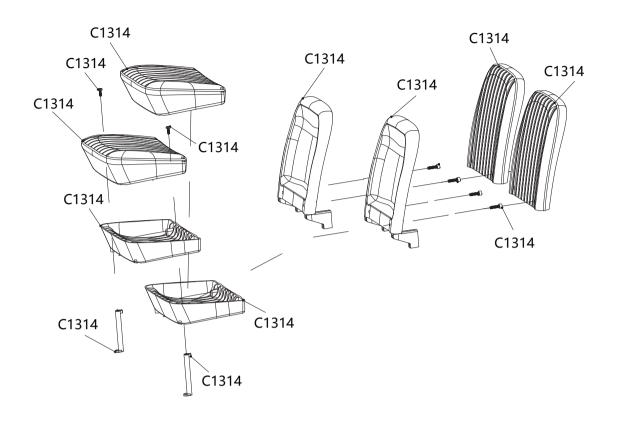
ホイール アッセンブリー



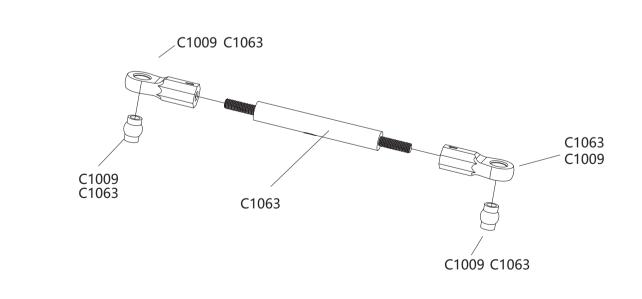
フロントウィンド アッセンブリー



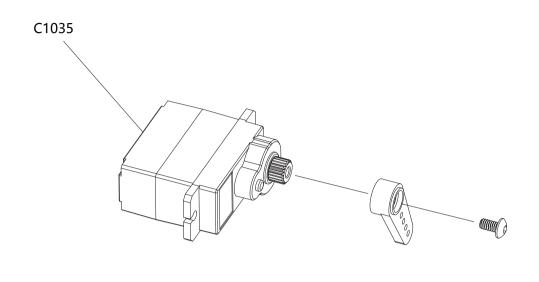
シートアッセンブリー



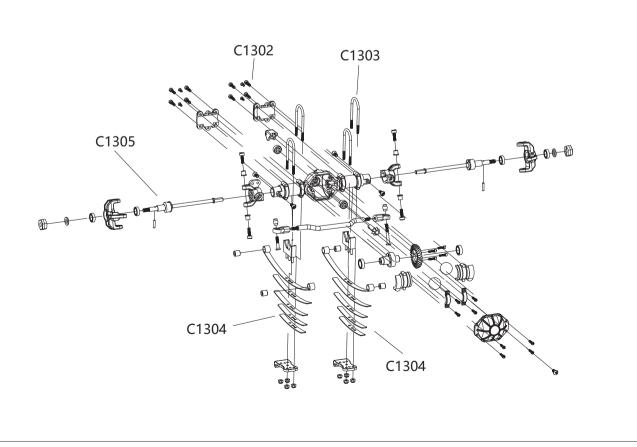
____ ステアリングリンゲージアッセンブリー



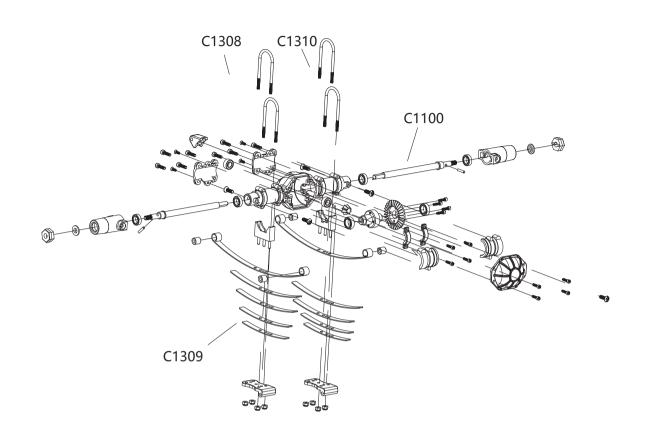
ステアリングサーボ



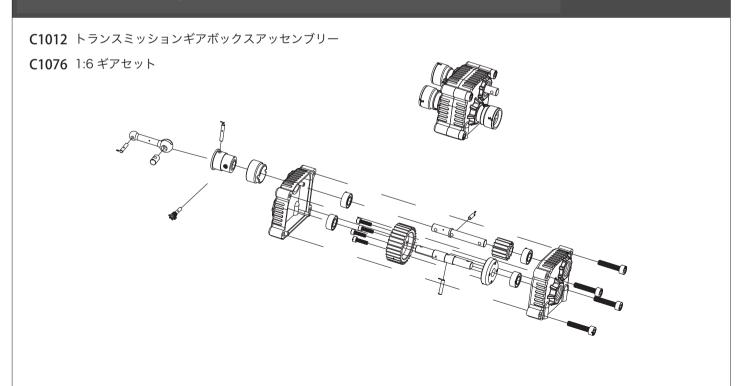
フロントアクスル アッセンブリー



リアアクスルアッセンブリー

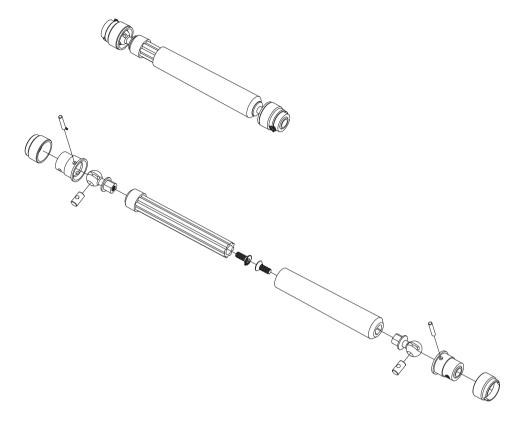


トランスミッションギアボックスアッセンブリー

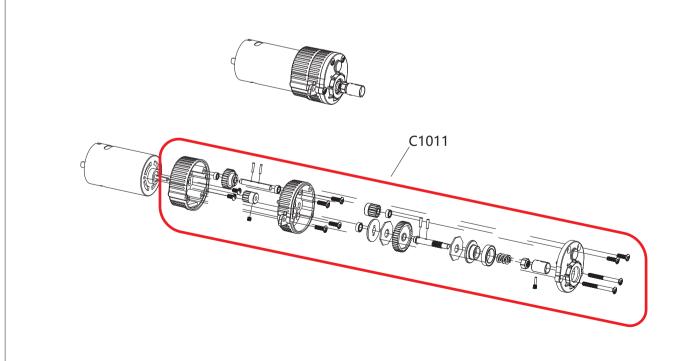


トランスミッションシャフトアッセンブリー

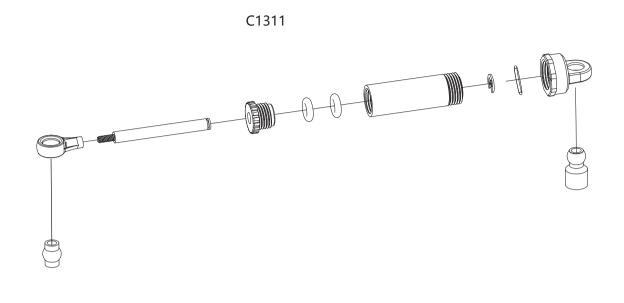
C1010 トランスミッションシャフトアッセンブリー



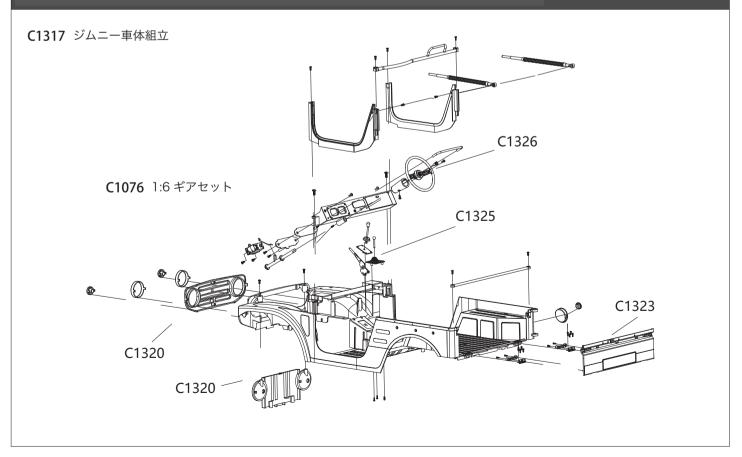
メインギアボックスアッセンブリー



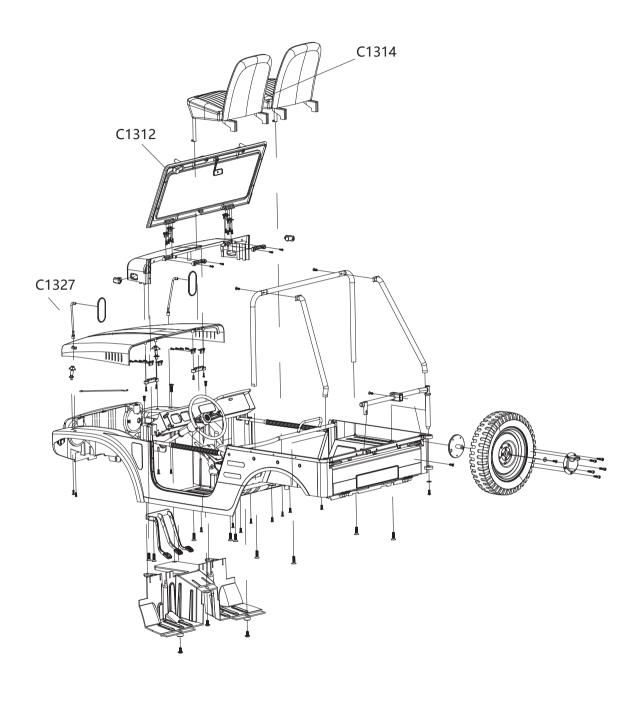
オイルダンパーアッセンブリー



車体組立



C1317 ジムニー車体組立



付属品リスト(1) "S" はスペアパーツ

"○"はオプションパーツ

田番	製品名	S/O
C1011	メインギアボックスセット	
C1010	トランスミッションシャフトアッセンブリー	
C1012	トランスミッションギアボックスアッセンブリー	
C1021	12mm WHEEL HEX SET	
C1300	1:6 ジムニー用タイヤ	
C1301	1:6 ジムニー用ホイール	
C1302	1:6 ジムニーフロントアクスルアッセンブリー	
C1303	1:6 ジムニー フロントアクスルプラパーツ	
C1304	1:6 ジムニー用フロント自動車リーフスプリング	
C1305	1:6 フロントアウトドライブシャフトアッセンブリー	
C1016	1:6 ステアリング C ハブパーツ	
C1063	1:6 ステアリングリンク	
C1308	1:6 ジムニー用リアアクスルアッセンブリー	
C1309	1:6 ジムニーリア自動車用リーフスプリング	
C1100	1:6 リアホイールシャフト	
C1310	1:6 ジムニー用リアアクスルプラパーツ	
C1311	1:6 ジムニーオイルショックアブソーバーアッセンブリー	
C1312	1:6 ジムニー窓枠	
C1313	1:6 ジムニー ワイパーセット	
C1314	1:6 ジムニーシートセット	
C1315	1:6 ジムニー フロントバンパーセット	
C1316	1:6 ジムニー リアバンパーセット	
C1317	1:6 ジムニー車体組立	
C1318	1:6 ジムニーミラーセット	
C1319	1:6 ジムニーホイールアッセンブリー (1 組)	
C1320	1:6 ジムニーラジエターグリルセット	
C1321	1:6 ジムニーレンズセット	
C1322	1:6 ジムニー 燃料タンクカバー	
C1323	1:6 ジムニー用リアドア	
C1324	1:6 ジムニーリアドアリンク	
C1325	1:6 ジムニー シフトバーアームセット	
C1326	1:6 ジムニー用ステアリングホイールセット	
C1327	1:6 ジムニー HOOD (ジムニーフード)	
C1328	1:6 ジムニーフードロック	
C1329	1:6 ジムニー用ロールケージ	
C1330	1:6 ジムニー・スペアタイヤラック	
C1331	1:6 ジムニー用手すり	
C1009	リンケージ&ロッド用ボールキャップ	
C1020	1:6 スクリューナットセット	
C1022	1:6 ピンロックセット	
C1023	1:6 ベアリングセット	
C1066	1:6 スリッパスプリング	
C1067	1:6 スリッパパッド	
C1068	1:6 スパーギア 42t 0.6	

付属品リスト (2) "S" はスペアパーツ

"○"はオプションパーツ

品番	製品名	S/O
C1070	1:6 5.8 ボール雲台	
C1076	1:6 ギアセット	
C1080	35t ブラシ付 550 モーター	
C1081	ガスケットセット	
C1082	1:6 フロントアウトドライブシャフトアッセンブリー	
C1077	1:6 R ドライブカップセット	
C1082	1:6 アルミニウムステアリング C ハブパーツ	
C1084	ブッシングセット	
C1085	1:6 アルミステアリングブラケットセット	
C1097	1:6 ピニオンギア	
C1101	1:6 金属製トランスミッションシャフト	
C1055	防水 60A ブラシ付き ESC	
C1056	防水 15kg メタルギアサーボ	
C1105	2.4G トランスミッター FIBRE STYLE	
C1106	2.4G 送信機 FIBRE STYLE&受信機セット	
C1035	1:6 9g ステアリングホイール用サーボ	
C1107	1:6 ジムニー LED ライトワイヤーセット	
C1108	防水 40A ブラシ付き ESC	